

# 名大の時間

## ソーシャルワーク実習Ⅱを終えて

ルワーク実習をしてきました。私の実習領域は地域包括であり、実習先は旭川市東光包括支援センターでした。以前から地域支援に関心があり、今回地域包括に実習に行かせて頂いて、多くの学びを得ることができました。

私は、8月13日から1カ月、ソーシャ

なもののなか、自分のなかでも教科書などで学んだだけではまだ曖昧だったところが、実際に現場を見せて頂いたことでだんだんと具体的にになり、自分がどのような支援・介入を行っていきたいのかというイメージもすることができました。

まず、地域支援とは何なのか、地域包括支援センターの役割とは一体どのような

認知症高齢者に関する問題は、名寄市や旭川市にも共通する問題であり、少子高齢化が進んでいる今、国全体としても適切な支援が求められています。

私が地域支援において、特に関心のあることが認知症高齢者への支援でした。

具体的方法としては、過去に起こった実際のケースをいくつか閲覧させて頂き、そこから共通の地域課題を抽出します。そしてその課題と、解決方法などについて地域の民生委員の方にお話させて頂くことによって、そこへご意見を頂くことで、その課題は地域に密着した民生委員の方々も同じように感じていることなのか、解決方法は他にどのようなものが考えられるか、な

実際に地域で暮らしている認知症の方、またそのご家族が、より地域で生活しやすくなるためにはどのような支援を行っていくとよいのか、考える機会を頂

く、ソーシャルワークとして大切な価値観などについても、教えていただけたのでなく、自分自身で気付いた部分も沢山あり、ソーシャルワーカーとしてかなり成長させて頂けた、充実した実習となりました。

また、地域支援に関することだけでなく、



また、地域支援に  
社会福祉学科3年  
宗片都喜絵